



オーストラリアの高校生が鴻巣中の生徒と交流

ボーカムヒルズ市のジェームズ・ルーズ農業高校の生徒9人が4月11日に鴻巣中を訪問し、バイオリンやチェロ、ピアノの演奏を披露しました。また、鴻巣中の生徒がよさこいソーランや吹奏楽の演奏をし、交流を深めました。



気合をこめて空手で交流

第7回鴻巣市空手道交流大会が3月25日、総合体育館で開催されました。アリーナでは参加した小・中学生のきびきびした形や組手が披露され、また道場対抗戦を通して子どもたちの交流が図られました。



100歳！ますますお元気に

100歳を迎えられた大塚みづさん(上谷)を3月28日、市が訪問してお祝いしました。これからもお元気で長生きしてください。



五月の空を舞うこいのぼり

市では子どもたちの健やかな成長を願い、端午の節句にあわせ、本庁舎前にこいのぼりを揚げることにしました。それに先立ち、4月25日に鴻巣市ひな人形協会から寄贈された長さ6mのこいのぼりの掲揚式を行いました。



皆の願い！無事カエル

「無事カエル」は、新小学1年生の無事な登下校を願うお母さん達の心がこもった手作りのマスコットです。今年は4月4日にクリアこうのすにて、交通安全母の会による贈呈式が行われました。



珠算1級、見事に合格！

全国商工会主催の第144回珠算検定で、岡村祐希さん(赤見台第2小6年)が難関の1級に合格しました。

全国商工会主催珠算検定についてのお問い合わせは、鴻巣市商工会(電話541-1008)

この夏から市民プールは 開園いたしません

市民プールは昭和51年の開園以来、多くの皆さんにご利用いただいてまいりましたが、入園者数約125,000人を数えた昭和59年をピークに年々減少の一途をたどり、平成17年には、ピーク時の約39%にあたる48,285人となり、その内の約55%は市外の入園者が占めております。また、平成18年入園者数は43,171人と前年を約5,000人下回ってしまい市民プールに対するニーズがさらに減少しております。

一方、開園から31年が経過するなか、施設の老朽化が確実に進行し、毎年行ってきた施設修繕だけでは対応が困難な状況となっております。このようななか、昨年7月には、埼玉県内の公立プールにおいて、痛ましい死亡事故が発生してしまいました。そして、この死亡事故を契機として、プールの運営に際しては、これまで以上に安全面における万全の施設整備と管理が必要になってきております。

以上のようなことから、市といたしましては、安全性など総合的に、また、慎重に検討した結果、市民プールは、今年度から開園しないこととし、市民プール関連の予算は計上いたしませんでした。市民の皆さんには、諸事情をご賢察いただき、ご理解いただきますようお願いいたします。

問い合わせ/みどり課みどり推進担当(内線72422)